

設計 施工資料	内装建材	樹脂製化粧見切
	見切・目地	高意匠天井/壁 見切り フリー勾配スライド見切3T

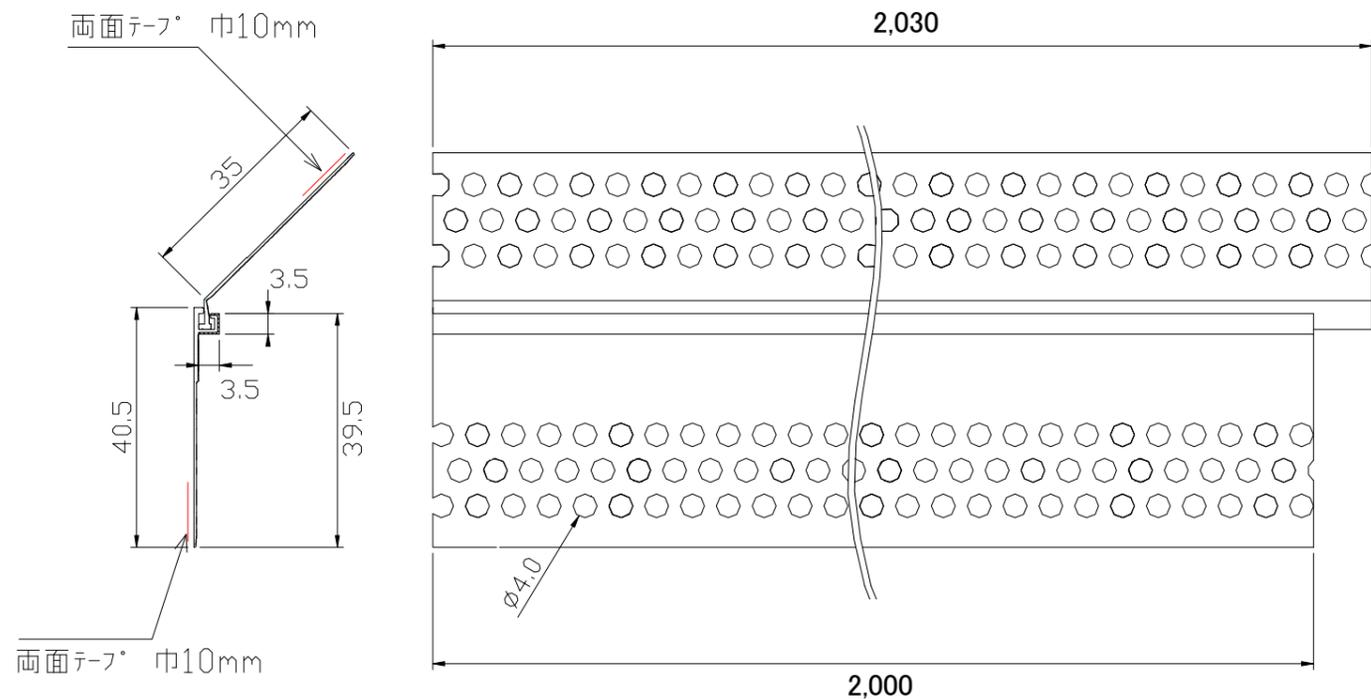
■設計施工時の注意

本製品は屋内の壁・天井見切りです

！注意

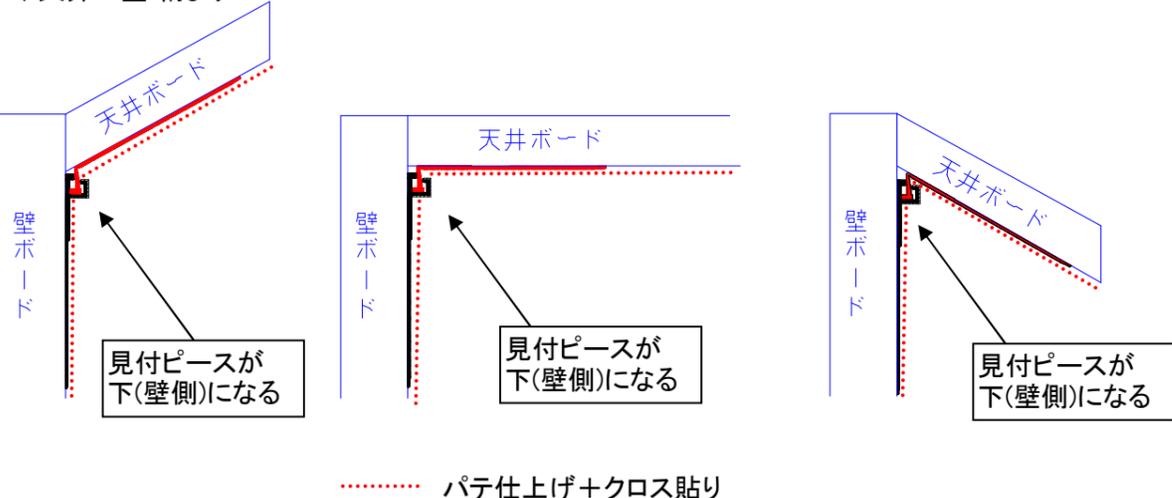
- 本製品は屋内の壁・天井用の見切り材です。それ以外の目的には使用しないでください
- 使用の範囲:①勾配天井の底入隅部、②勾配天井と壁が取り合う入隅部(45° ~150°)
- 本製品の在庫保管や施工時の一時保管の場合は、雨や直射日光の当たらないところに寝かせて保管してください

■製品図



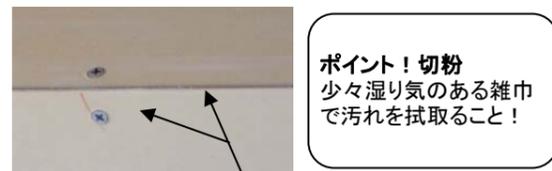
■基本納まり図

◆天井-壁 納まり



■施工要領

- ①壁・天井の下地を綺麗にする
石膏ボードの切粉や埃など、下地の汚れを拭取ってください。
見切り材の下地への密着度に影響します。



ポイント！切粉
少々湿り気のある雑巾
で汚れを拭取ること！

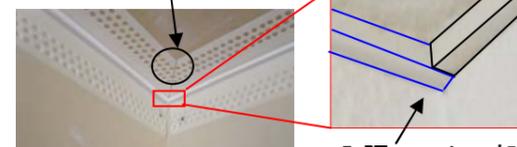
- ②長さを切断する
カッターもしくは手鋸にて切断してください。
※樹脂切断用のハサミはNGです。(切断時に見付をつぶしてしまう為)



ポイント！切断
見付をつぶさないように
注意して切断すること！

・入隅部

端部同士が重ならないよう切削

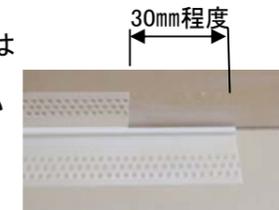


入隅コーナー部の見付は突付けでOK
※45° カットまでは必要なし

・ジョイント部

長手にジョイントする際には、30mm程度ずらして
連結してください。
※ジョイントの突付け部は
切断加工面ではなく、
真物を使用してください

ポイント！ズラし
本品を折曲げる前
に、
ジョイントのズラしを



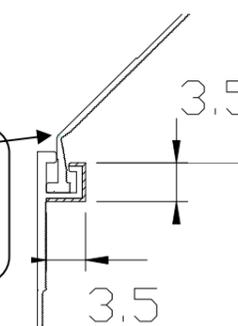
- ③下地へ貼付け
下地角度に沿うように、製品を折り曲げてください。
そして見付ピースが下になるようにして、そのピースを
押当てるようにして位置を合せ、テープで貼付けてくだ

ポイント！圧着
下地に対して、しっかり
圧着し貼付けてください！



上ピースの両面テープは
後で剥がす

ポイント！折曲げ
折り曲げを何度も繰り返すと
割れる恐れがあります。折り
曲げは1回で充分です。



- ④パテ処理
下地材の段差を隠すため、パテを入れてください。
最低でも2回(下パテ・仕上げパテ)、段差が出る
場合は3回パテ処理してください。



見付に付着したパテ
は、クロス貼り後に、
濡れスポンジで除去
してください。

- ⑤クロス貼り
クロスは見切りを定木にして切断してください。

